



阪神南支部では、芦屋市・西宮市・尼崎市の3市で拠点活動と定期的に活動している出前隊の活動があります。

令和5年度はコロナ禍も過ぎ、徐々に活動を再開する時期に入りました。西宮こども祭りではブラスバンドの演奏が響き渡る中、多くの利用者様がお見えになりました。看護の日のイベントは、各測定に行列ができるほど盛況でした。また、芦屋福祉フェアでは新しく災害支援ナースがボランティアに加わり活動を行いました。尼崎市民祭りでは看護相談をメインに、高血圧予防を主におきながら、栄養面や持病のことについても相談を行いました。子育て支援もオンラインから対面に移行しつつあり、育児における講話や多くの相談に対応しています。

今後も「まちの保健室」活動につきましては、まだまだ感染対策を考慮して行っていく必要がありますが、利用者のお話を傾聴し、困った表情が少しでも晴れて帰られるのを見ると、とてもやりがいを感じます。これからも一人でも多くの仲間が増え、コロナ前の状態に戻っていくことを願いながら、活動を続けて行きたいと思えます。



子育て交流ひろば「るんるんルーム」～オンラインから対面へ～ (兵庫県立大学看護学部周産期ケア研究センター)

「るんるんルーム」は、生後1か月から未就学児までのお子様と保護者、妊婦を対象とした子育てひろばです。兵庫県立大学看護学部周産期ケア研究センターと兵庫県立尼崎総合医療センター(以下AGMC)との連携事業であり、今年で9年目を迎えます。

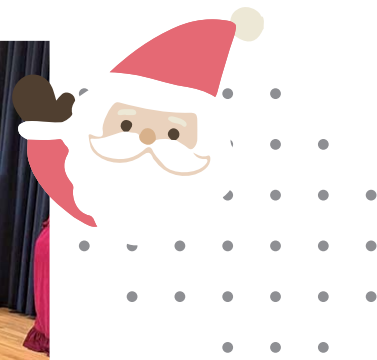
コロナ禍の3年間はオンラインで開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を機に、令和5年4月より開催方法を『オンラインから対面へ』切り替えました。しかしながら、感染症重症化防止の観点から、従来行っていたAGMC内での開催は難しく、近隣の公共施設をお借りして開催しています。

開催頻度は月1回、月替わりのショートイベント(音楽療法士による手遊び歌&楽器遊び・助産師によるベビーマッサージ・産婦人科医師による産後の身体と心のお話など)、その後、ママ同士の交流と情報交換、助産師による子育て相談、子どもの体重・身長測定、癒しのハンドマッサージの提供を行っています。

今年度は165名の参加があり、利用者の皆様のお声や利用状況から対面での開催に満足されていることがわかりました。しかし、安全でよりよい支援ができるよう事前申込制とし1回利用者を10組に制限しておりますが、参加申し込みが早々に終了になる現状から、利用者の皆様のニーズに十分お応えできていない現状にあります。今後は開催日を増やし、開催場所をAGMC内に戻し、より多くの利用者が安心して参加できるひろばを目指して活動を続けていきたいと思っております。



音楽療法士によるショートイベント(クリスマス企画)の様子



ハンドマッサージの提供